

令和4年度北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会 次第

日時 令和4年7月4日（月）午後6時30分～
場所 加西市民会館 3階 小ホール

1 開 会

2 座長挨拶

3 委員等出席者の紹介

4 議 事

(1) 報告事項

ア 定住自立圏構想について【資料1】

イ 北播磨圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会について【資料2】

(2) 協議事項

ア 第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンに掲げる各連携事業の進捗状況における評価基準の修正等について【資料3】

イ 北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について【資料4】

5 その他

6 閉 会

定住自立圏構想について

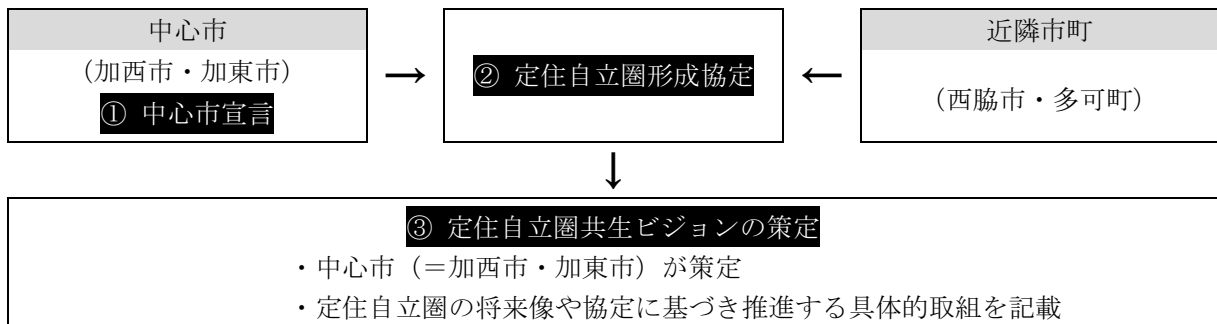
定住自立圏構想の意義

中心市と近隣市町村[※]が相互に役割分担し、連携・協力することにより、圏域全体として必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進し、地方圏における定住の受け皿を形成する。

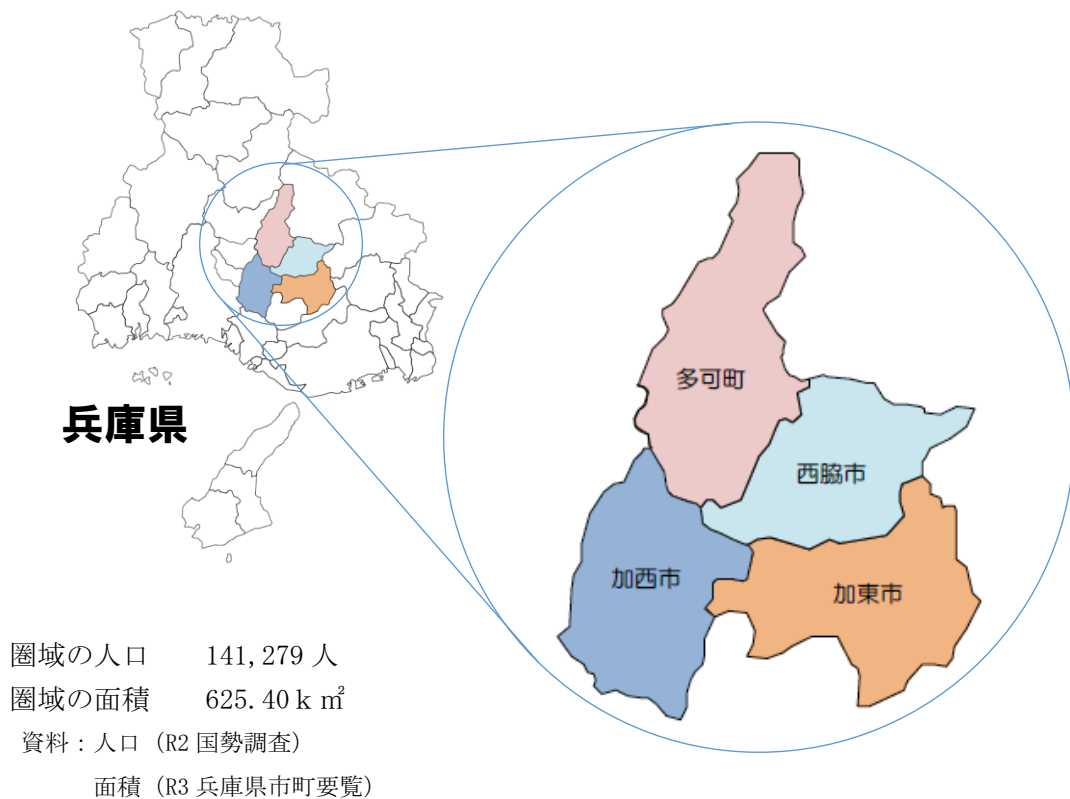
※近隣市町村…中心市と近接し、経済、社会文化又は住民生活等において密接な関係を有する市町

北播磨広域定住自立圏に係る取組状況

平成 27 年	3 月 2 日	加西市及び加東市による中心市宣言 ※宣言中心市（加東市及び加西市）と近隣市町において、定住自立圏形成に関する連携項目等についての協議を開始
	10 月 5 日	北播磨広域定住自立圏形成協定調印式〔加東市滝野図書館〕
	11 月 30 日	北播磨広域定住自立圏共生ビジョン（平成 27 年度～平成 31 年度）策定
令和 2 年	3 月 31 日	第 2 次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン（令和 2 年度～令和 6 年度）策定



北播磨広域定住自立圏のイメージ



第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの取組内容の体系図

分野 (3)	政策 (10)	施策 (17)	事業 (24)
生活機能の強化	医療	医療体制の確保	01 病病・病診連携事業
			02 播磨内陸医務事業組合運営事業
		医療連携の強化	03 地域医療連携室連携強化事業
			04 障がい児発達相談強化事業
	福祉	子育て支援の充実	05 児童虐待防止事業
		権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化	06 権利擁護・成年後見事務共同実施事業
	教育	文化・スポーツの振興	07 図書館相互利用推進事業
			08 文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業
	産業振興	地域資源のブランド化 創業支援の推進	09 兵庫教育大学との連携講座事業
			10 北播磨地場産業開発機構支援事業 11 創業支援連携事業
	生活	広域防災体制の整備強化	12 広域防災対応能力強化事業
			13 広域備蓄体制整備事業
			14 北はりま消防組合運営事業
		環境・エネルギー対策の推進	15 環境関連活動推進事業
	住民相談窓口の相互利用等	16 消費者行政推進事業	
	健康事業等の広域連携	17 「健幸」推進事業	
	結びつきやネットワークの強化	地域公共交通	地域公共交通の広域連携
ICTインフラの整備		自治体情報システムの効率化	19 RPA・AI等 ICT活用調査・研究事業
交通インフラの整備		広域幹線道路の整備促進	20 広域幹線道路整備推進事業
地域内外の住民との交流・移住促進		観光資源の開発	21 地域観光情報発信・誘客活動事業
圏域マネジメント能力の強化	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	人材の育成及び確保	22 人材育成事業
			23 人事交流事業
			24 公平委員会の共同設置事業

北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

制定 平成27年8月3日

(設置)

第1条 加西市及び加東市は、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6に規定する定住自立圏共生ビジョン（以下「共生ビジョン」という。）の策定等について協議するため、北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 共生ビジョンの策定又は変更に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、定住自立圏構想に関すること。

(組織)

第3条 懇談会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、加西市長及び加東市長（以下「両市長」という。）が選任する。

- (1) 定住自立圏形成協定に掲げた政策分野の関係者
- (2) 定住自立圏構想について識見を有する者
- (3) その他両市長が特に必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長をそれぞれ1人置く。

2 座長は委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。

3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇談会の会議（以下「会議」という。）は、座長が招集する。ただし、座長が定まっていないときは、両市長が招集する。

2 会議の議長は、座長がこれに当たる。

3 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

4 懇談会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見

を求めることができる。

(部会)

第7条 懇談会は、その所掌事務を分掌させるため、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 部会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

(庶務)

第8条 懇談会の庶務は、加西市及び加東市の定住自立圏構想担当課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成27年10月5日から施行する。

(任期の特例)

2 この要綱の施行の日以後初めて選任する委員の任期は、第4条第1項本文の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。

北播磨広域定住自立圏共生ビジョン懇談会の運営について

平成27年10月6日決定

1 会議の公開（会議の傍聴）について

- (1) 会議は、原則公開とする。ただし、座長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めるときは、非公開とすることができる。
- (2) 会議の公開は、傍聴を希望するものに当該会議の傍聴を認めることにより行う。
- (3) 傍聴人の定員は、会議の会場の規模に応じて決定する。
- (4) 前2号に掲げるもののほか、会議の傍聴に関して必要となる手続は、加西市又は加東市の規程の規定に基づいて行う。

2 議事の表決等について

- (1) 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。
- (2) 会議において意見等の発言を行う場合は、挙手の上行う。

3 会議録の作成について

- (1) 会議録は、要点筆記で作成する。
- (2) 会議録の署名は、議長（座長）及び署名人（副座長）が行う。

4 会議録等の公開について

- (1) 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（議長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。
- (2) 会議録と併せて、会議資料を公開する。
- (3) 委員名簿は、市のホームページで公開する。

5 その他

その他会議の運営に関して必要な事項は、座長が懇談会に諮って定める。

第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンに掲げる
各連携事業の進捗状況における評価基準の修正等について

1 様式の修正

- ①様式中、「進捗状況」を「進捗・達成状況」とする。
- ②様式中、各連携事業の「進捗・達成状況」（評価）欄の右横に、「評価理由」欄を追記する。
⇒ 進捗・達成状況（評価）に係る補足事項を記載する。

2 評価基準の修正

- ①『◎：計画どおりに実施かつ事業を拡充した。』を
『◎：計画どおりに実施し、目標を超える成果があった。』とする。
⇒ 目標（成果指標）の達成率：115.1%以上
- ②『○：計画どおりに実施した。』を
『○：計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。』とする。
⇒ 目標（成果指標）の達成率：85.0%以上～115.0%以下
- ③『△：一部事業を計画どおりに実施した。』を
『△：一部事業を計画どおり実施した。
計画どおりに実施したが、目標を下回った。』とする。
⇒ 目標（成果指標）の達成率：84.9%以下

※ 指標が2つある場合は、2つの指標の達成率の平均値を踏まえて評価を決定する。ただし、どちらか1つの指標の達成率が84.9%以下となる場合は、その事業の評価は『△』とする。

3 第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの令和2年度における進捗・達成状況
の評価の修正

上述2の評価基準の修正により、

- 「事業No. 2 播磨内陸医務事業組合運営事業」の進捗・達成状況評価『◎』を『○』へ、
「事業No. 7 図書館総合利用推進事業」の進捗・達成状況評価『○』を『△』へ、
「事業No.13 広域備蓄体制整備事業」の進捗・達成状況評価『○』を『△』へ、
「事業No.17 「健幸」推進事業」の進捗・達成状況評価『◎』を『○』へ、
「事業No.22 人材育成事業」の進捗・達成状況評価『○』を『◎』
とする。

第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョンの進捗・達成状況について

資料4-1

進捗・達成状況		事業数
◎	計画どおりに実施し、目標を超える成果があった。	2
○	計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。	10
△	一部事業を計画どおりに実施した。 計画どおりに実施したが、目標を下回った。	12
×	未実施	0

No.	政策	施策	事業名	進捗・ 達成状況
1	医療	医療体制の確保	病病・病診連携事業	△
2			播磨内陸医務事業組合運営事業	○
3		医療連携の強化	地域医療連携室連携強化事業	△
4			障がい児発達相談強化事業	△
5	福祉	子育て支援の充実	児童虐待防止事業	△
6		権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化	権利擁護・成年後見事務共同実施事業	○
7	教育	文化・スポーツの振興	図書館相互利用推進事業	△
8			文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業	○
9		質の高い教育環境の整備	兵庫教育大学との連携講座事業	○
10	産業振興	地域資源のブランド化	北播磨地場産業開発機構支援事業	△
11		創業支援の推進	創業支援連携事業	△
12	生活	広域防災体制の整備強化	広域防災対応能力強化事業	△
13			広域備蓄体制整備事業	○
14			北はりま消防組合運営事業	○
15		環境・エネルギー対策の推進	環境関連活動推進事業	◎
16		住民相談窓口の相互利用等	消費者行政推進事業	△
17		健康事業等の広域連携	「健幸」推進事業	△
18	地域公共交通	地域公共交通の広域連携	公共交通広域連携調査・研究事業	△
19	ICTインフラの整備	自治体情報システムの効率化	RPA・AI等ICT活用調査・研究事業	○
20	交通インフラの整備	広域幹線道路の整備促進	広域幹線道路整備推進事業	○
21	地域内外の住民との交流・移住促進	観光資源の開発	地域観光情報発信・誘客活動事業	○
22	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	人材の育成及び確保	人材育成事業	◎
23			人事交流事業	○
24			公平委員会の共同設置事業	△

第2次北播磨広域定住自立圏共生ビジョン連携事業の進捗・達成状況について

資料4-2

進捗・達成状況		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
-	今年度事業計画なし	-	-	-	-	-
◎	計画どおりに実施し、 目標を超える成果があった。	1	2			
○	計画どおりに実施し、 ほぼ目標を達成した。	9	10			
△	一部事業を計画どおりに実施できた。 計画どおりに実施したが、目標を下回った。	10	12			
×	未実施	4	0			
計		24	24			

【各評価の内容について】

- ◎：計画どおりに実施し、**目標を超える成果があった。**
- ：計画どおりに実施し、**ほぼ目標を達成した。**
- △：一部事業を計画どおりに実施した。
計画どおりに実施したが、目標を下回った。
- ×：未実施

No.	政策	事業名	R3年度						進捗・達成状況	評価理由			
			取組内容（実績）			次年度への課題と予定							
1	医療	病病・病診連携事業	各病院の不足する診療科を補い合う応援体制がとれ、医師の派遣件数は目標を上回った。住民等に対する情報発信の場となるフェスタやフォーラムは新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止した。			病院フェスタや住民フォーラム等以外の情報発信のあり方を検討する必要がある。			△	医師の派遣については、 目標を超える成果があった。 一方、 病院フェスタや住民フォーラム等の年間参加人数は については、 新型コロナウイルスまん延防止のため中止し、目標に達しなかった。			
	施策												
	医療体制の確保												
	事業概要			指標名			区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
	医師の相互応援や病院の検査機器による精密検査の診療所への開放、診療所等との連携による地域医療を担う医師の育成など、病院間の診療連携や病院と診療所との連携を推進するとともに、地域医療普及啓発事業（病院フェスタ）や地域医療体制推進事業（住民フォーラム）等を開催することにより、限られた医療資源を活用しながら、圏域住民が安心して住み続けられる医療体制の維持・充実を図る。			医師の年間相互応援件数（件）【単年度】			目標	200	200	200	200	200	病院間での不足する診療科に対する応援体制がとれ、前年度を超える結果となった。
							実績	390	419				
達成率							195.0%	209.5%					
病院フェスタや住民フォーラム等の年間参加人数（人）【単年度】							目標	4,150	4,200	4,250	4,300	4,350	各市町とも病院フェスタ等イベントについては、 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止し、目標に届かなかった。
			実績	298	0								
			達成率	7.2%	0.0%								

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由								
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定												
2	医療	播磨内陸医務事業組合運営事業	播磨内陸医務事業組合の運営経費を負担するとともに、市立病院の医師、看護師等の講師派遣及び看護学生の実習受け入れ等に協力した。また、外部講師確保のため地元医師会への協力要請や圏域病院内での講師確保に努めた。あわせて、圏域内の公的病院を修学資金の返還免除対象病院に加え、圏域内病院での看護師確保に努めた。		学校の安定的な運営に関し、外部講師(医師)の確保が課題である。また、受験生が減少しており、安定的な看護師確保のため、ホームページの改修を行うなど学校のPRを行い、学生確保に努める。		○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		講師確保や実習受け入れは継続して実施できている。また、評価指標は目標をわずかに下回ったが、昨年度実績より増加し、達成率99%とほぼ目標に近い就職率を維持できた。								
	施策		事業概要		指標名						区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
	医療体制の確保		播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校の施設、設備等の維持保全に努めるとともに、講師や実習施設の確保に協力するなど、教育環境の充実を図ることで優秀な看護師の育成を推進する。あわせて、播磨内陸医務事業組合立播磨看護専門学校の今後の運営のあり方について検討・協議する。		圏域内病院年間就職率(%)【単年度】						目標	58.9	59.2	59.4	59.7	60.0	
		実績					51.9	58.6									
	達成率	88.1%					99.0%										
3	医療	地域医療連携室連携強化事業	令和3年度末に、オンラインシステムの設備が完了できたが、活用に至らず、メール・電話での情報交換を行った。		北播磨病院連携会議について定期的なオンライン会議を開催し、検討していく。		△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		臨床現場において、新型コロナウイルス感染での対応業務が継続し、定期会議はできなかった。しかしメールなどでの各病院での情報交換・連携を図り、目標値は達成した。								
施策	事業概要		指標名		区分	R2年度					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析		
医療連携の強化	圏域内の医療ニーズに即応し、効率的かつ継続的に質の高い医療を提供するため、北播磨病院連携会議を定期開催し、情報交換や協議、研修等を行う。連携強化項目として、訪問看護の拡大推進や地域包括ケア病棟の効果的な運用、各市町の高齢者福祉施設等との連携による圏域市町の境界区域への対応を含めた在宅療養移行支援の推進を図る。また、既存の地域医療連携システム北はりま絆ネットの活用及び普及を図るとともに、北播磨地域連携バス（脳卒中・大腿骨近位部骨折）の積極的な運用を継続する。		北はりま絆ネットの運用実績(件)【累計】		目標	1,800					1,900	2,000	2,100	2,200		絆ネット連携患者数は、1,027件増加し、延べ数4,051件と順調に増加している	
					実績	3,024	4,051										
					達成率	168.0%	213.2%										
		地域包括ケア病棟の年間病床使用率(%)【単年度】		目標	93.0	94.0	95.0	95.0	95.0	95.0	新型コロナウイルスの影響があり、病院の格差が生じているが、令和3年度は平均86.3%となった。						
	実績			85.5	86.3												
	達成率			91.9%	91.8%												

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
4	医療	障がい児発達相談強化事業	相談事業については、各市町において医師等委託先を確保のうえ、予定通りに実施できた。広域で相談員に対する事例研修等の連携事業について十分な実施ができなかった。		コロナ禍のもと、広域での事例研修等や関係機関との連携をいかに実施するか検討が必要。				△	連携事業として行っ予定と していましたが相談員育成の ための事例研修など各市 町間の担当職員が顔を合 わせて行う事業について は、新型コロナウイルス感 染症のまん延防止の観点 から実施を見送りました。
	施策									
	医療連携の強化									
	事業概要			指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
圏域内の障害児相談センター等への医師の応援を行うとともに、相談員に対する事例研修等を実施するほか、民間病院等と保健福祉の連携を継続して行うことにより、相談員の育成や障がい児の保護者へのケアの充実を図り、障がい児の一体的ケアとあわせ、保護者が安心して暮らすことのできる環境を整える。			発達相談及び発達相談事例研修の年間実施件数（件）【単年度】	目標	72	72	72	72	72	各市町により予定通りに実施できた。
				実績	174	251				
				達成率	241.7%	348.6%				
No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
		取組内容（実績）		次年度への課題と予定						
5	福祉	児童虐待防止事業	圏域市町等の幼稚園・保育所・こども園や小中学校等に受講者募集ちらしを配布するとともに、関係機関から対象者へ受講勧奨を行った。7名の受講者が確保でき、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら適切に事業を実施した。		各市町家庭児童相談室や加東こども家庭センターと連携を図りながら、プログラム対象者を受講につなげていくことが必要である。				△	プログラム受講に際する面接により、効果的に行うための受講調整を行ったため、目標値には達していないが、7名の受講者が確保でき、出席率も高く、虐待行動の終止や体罰等に対する考え方に変化が見られ、事業を適切に実施できた。
	施策									
	子育て支援の充実									
	事業概要			指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
養育者の子どもへの不適切な関わり（身体的虐待・心理的虐待・ネグレクト）の解消を目的に、虐待第三次防止プログラム（虐待の終止・再発防止・家族再統合）を実施する。			プログラム年間受講人数（人）【単年度】	目標	10	10	10	10	10	目標値には達していないが、出席率は99.2%で、7名の全参加者に子育て意識の改善が見られた。
				実績	0	7				
				達成率	0%	70.0%				

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
6	福祉	権利擁護・成年後見 事務 共同実施事業	圏域各市町での取組状況やセンター設置の方向性について担当者会議を開催することができた。		広域で実施している先進地での取り組みを研究し、圏域に合致した制度運営について検討していく。		○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		今後の進め方について各市町間で合意が得られた。	
	施策									
	権利擁護・成年後見事務の効率化及び体制強化									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
圏域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、中核機関や権利擁護センター（相談窓口）の共同設置、権利擁護推進研修の共同実施など、権利擁護・成年後見事務を共同で行うことについて、圏域各市町の現状や今後の展望等を踏まえて調査・研究する。	権利擁護・成年後見制度事務の広域化検討事業数（事業）【累計】	目標	1	1	1	2	3	担当者会議を開催することが出来た。		
		実績	0	1						
		達成率	0%	100.0%						
7	教育	図書館相互利用推進 事業	図書館利用者の利便性向上と圏域内図書館の利用促進を目標に、加東市滝野図書館と西脇市図書館を拠点館として、毎週1回の回収日を設定し、相互貸借を利用したリクエストサービスと館外返却サービスを継続して取り組んだ。		引き続き相互貸借を利用したリクエストサービス及び館外返却サービスを行う。事業を継続することで利用者の利便性向上と、圏域内図書館の利用促進を図る。事業周知のためのさらなる情報発信や啓発にも継続して取り組む。		△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		サービスの実施と事業周知のための情報発信に継続して取り組んだ結果、昨年度より増加しているが、新型コロナウイルス感染症の影響は引き続きあり、指標の目標値を達成することはできなかった。	
	施策									
	文化・スポーツの振興									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
図書等の相互貸借及び館外返却サービスを運用し、圏域内各図書館の利用を促進する。	図書等の館外返却サービスによる年間預かり冊数（冊）【単年度】	目標	14,200	14,400	14,600	14,800	15,000	昨年度に比べ図書館利用が増加傾向にあり、それに伴い当事業の利用数が各市町とも再び増加に転じた。		
		実績	9,789	11,709						
		達成率	68.9%	81.3%						

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由		
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定						
8	教育	文化・スポーツ交流活動及び施設相互利用推進事業	担当者会議を5回実施（内スポーツ推進委員会長会議1回）。スポーツ教室（サッカー教室）、スポーツ推進委員会事業（ウォーキング）、グラウンド・ゴルフ大会を実施。		スポーツ教室ではジュニアを対象とし、スポーツ推進委員会事業では幅広い年齢層を対象とし、グラウンド・ゴルフでは高齢者を対象としており、バランスの取れた事業展開ができています。また、各市町で事業を持ち回りしているため、それぞれ特色のあるスポーツ教室を開催できています。			○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成しました。		予定通りに3事業を実施し、スポーツを通じた圏域住民の交流を図ることができた。	
	施策										
	文化・スポーツの振興										
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析		
圏域市町の文化・スポーツ施設の相互利用を推進するとともに、スポーツ推進委員と連携しながら、圏域住民を対象とした文化・スポーツ事業を実施することで、圏域住民の交流促進や文化・スポーツ活動に対する意欲の向上、健康増進を図る。また、兵庫教育大学をはじめとする専門機関等との連携により文化・スポーツ指導者の育成を図る。			各種大会・イベントの年間開催回数（回）【単年度】	目標	3	3	3	3	3	感染症対策を施したうえで、全事業を実施できた。	
				実績	2	3					
				達成率	66.7%	100.0%					
No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由		
取組内容（実績）		次年度への課題と予定									
9	教育	兵庫教育大学との連携講座事業	圏域内教員の資質・能力の向上および交流を図るため兵庫教育大学との連携講座を企画し、コロナ感染拡大防止の観点から、参加者の半数は集合型研修、半数はオンライン研修により実施することができた。		オンライン研修で参加した受講者には、通信環境の状態により一部音声が届かない場面があった。機器の充実とともに、今後もよりニーズの高まるオンライン研修実施のスキルや経験を高める。			○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成しました。		コロナ禍における受講・参加機会の方法を見出し、教員の資質向上を達成するとともに、目標数に近い参加人数を得ることができたため。	
	施策										
	質の高い教育環境の整備										
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析		
圏域内の教員の資質向上を図るため、兵庫教育大学と連携し、講座や研修会等を開催する。			合同講座・研修会の参加人数（人）【単年度】	目標	40	40	40	40	40	新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら研修講座を実施し、目標に迫ることができた。	
				実績	0	37					
				達成率	0%	92.5%					

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
10	産業振興	北播磨地場産業開発機構支援事業	ブランドのPR力、製品の企画力、製造技術の習得等のセミナーを実施した。（開催回数4回）		播州織ブランド産地生産体制の維持のため、引き続き事業承継や技術承継のためのセミナー等を実施する。		△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		オンラインを活用して製品や生地を提案するセミナーを実施するなど新しいPR方法を学ぶ機会を設けたが、コロナ禍で会議室の利用定員を少なくする必要があったため、参加者が目標値を下回った。	
	施策									
	地域資源のブランド化									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
圏域における重要な地場産業のひとつである播州織を活性化することは、地域経済の振興に不可欠であるため、その活性化に取り組む公益財団法人北播磨地場産業開発機構を支援する。		講演会等参加者数（人）【単年度】	目標	120	120	120	120	120	事業計画のとおりセミナーを実施したが、コロナ禍で会議室の利用定員を少なくする必要があったため、参加者数が目標値を下回った。	
実績	105		88							
達成率	87.5%		73.3%							
11	産業振興	創業支援連携事業	令和4年1月20日（木）に株式会社S A S I代表取締役近藤清人氏を講師として創業セミナーを開催した。 講演テーマ：先が読めない時代だからこそこの起業体験談とデザイン経営 翌年度の事業の参考としてアンケートを実施し、創業に対する課題や支援ニーズを把握した。		社会情勢やトレンド等に注目しながら、創業希望者のニーズに合ったセミナーの内容を検討する。		△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		創業希望者同士の交流の場となるような内容での開催を検討していたが、コロナ禍で開催時期の調整が難しく、結果、例年通りの受講形式のセミナー開催となった。	
	施策									
創業支援の推進										
事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析		
商工会議所・商工会等と連携しながら、圏域市町で特定創業支援等事業（創業塾等）を共同実施する。また、圏域市町間の連携により創業セミナーを開催するなど、効果的な創業支援の推進を図る。		年間創業件数（件）【単年度】	目標	46	47	48	49	50	国等の資金繰り支援策や市町における各種創業に関する事業の実施など、起業しやすい環境が整備されてきたため、コロナ禍でも一定数の事業者の創業が続いている。	
実績	52		38							
達成率	113.0%		80.9%							
		創業セミナー年間参加人数（人）（単年度）	目標	38	39	40	41	42	起業に興味を持つ人や講師から知識を学ぼうとする意欲のある方に参加いただき、好評を得た。	
			実績	20	34					
			達成率	52.6%	87.2%					

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由			
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定							
12	生活	広域防災対応能力強化事業	災害対策本部運営訓練の実施。避難所運営ゲームHUG（カードゲーム形式）を職員および住民向けに実施。 自主防災組織訓練補助金を自主防災組織の防災訓練に対して費用の一部を補助。		当共生ビジョンの主旨から地域合同の広域訓練が必要であるとする。				△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		コロナ禍のため、事業を実施出来なかった市町もあったが、各自主防災組織が屋外で感染対策を行った上で実施したり、ゲーム形式で避難訓練を行う等、内容に工夫を凝らして事業を実施した。	
	施策											
	広域防災体制の整備強化											
	事業概要			指標名		区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
	大規模災害の発生時において、迅速かつ確かな災害対応を行うための情報共有や応援体制の確立など、圏域市町の連携強化に取り組むとともに、防災知識の普及啓発などを通じて、圏域の地域防災力の向上を図る。			図上訓練の年間実施回数（回）【単年度】		目標	1	1	1	1	1	ゲーム形式訓練2回、災害対策本部運営訓練2回、福祉避難所開設訓練1回を実施した。
実績						1	5					
圏域市町職員における家屋被害認定士数（人）【累計】				目標	188	191	194	197	200	令和3年受講者は、退職者が一部あったものの総数で増員を行うことが出来た。		
				実績	207	213						
達成率	110.1%	111.5%										
No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由			
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定							
13	生活	広域備蓄体制整備事業	防災備品の数量確保を目的として、感染症対策、備蓄食料等の備蓄品の充実を図った。		令和3年度は感染症対策に費用がかかったため、事業費は各市町とも減少しているが、いずれも計画通りの備蓄が出来ている。引き続き各市町で情報共有を行い、賞味期限等に注意を払いながら備蓄品の適正な購入に努めていきたい。				○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		計画通り実施出来ている。	
	施策											
	広域防災体制の整備強化											
	事業概要			指標名		区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
	圏域市町における物資備蓄は、内容及び数量とも必ずしも万全とはいえない状況であるため、大規模・広域的な災害の発生を想定し、備蓄物資について情報共有を図ることで、有事の際の相互補完体制を強化する。			備蓄物資管理台帳の年間更新回数（回）【単年度】		目標	2	2	2	2	2	備蓄物資の調査および播磨地域の担当者会議における資料で各市町の備蓄品の情報共有を行った。
実績						1	2					
達成率						50.0%	100.0%					


No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由		
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定						
14	生活	北はりま消防組合運営事業	令和3年11月から西脇消防署多可出張所の新庁舎での運用開始で、消防10拠点の施設整備が完了し、警防体制強化を図ることができた。		令和6年度の目標：1⇒0。 西脇消防署への指令センター移転及び運用開始が令和7年度の予定であったが、令和6・11年度に現システムの2回の部分更新をし、移転は令和17年度にすることが本年度に決定した。			○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		計画どおり令和3年度中に建設工事完了及び運用開始することができた。	
	施策										
	広域防災体制の整備強化										
	事業概要			指標名		区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
広域のメリットを活かした、消防力の集中配備・投入などの北播磨の消防力が効率的に運用できる体制整備と、統一的な指揮下での効率的な部隊運用、計画的な署所配置や高機能指令センターの更新整備などにより、消防体制の基盤強化を行う。また、圏域市町との連携強化により、消防団等との円滑な活動を確保する。			新庁舎建設等の年間施設整備件数（件）【単年度】		目標	1	-	-	-	1	庁舎の建設工事完了及び運用開始した。
					実績	0	1				
					達成率	0.0%	100.0%				
15	生活	環境関連活動推進事業	令和3年8月2日から8月13日まで(4日、10日、11日除く)の9日間、環境保護に取り組んでいる協力団体のパネル展示やワークショップ等の家族で遊び、楽しみながら地球温暖化対策について学べるイベント「かとう夏のCOOL CHOICE ウィーク」を実施した。 令和3年12月20日から12月27日までの8日間、エコカーの導入やエコドライブをテーマとした地球温暖化対策の啓発イベント「かとう冬のCOOL CHOICE ウィーク」を実施した。		来場者数をより増やすため、更なる周知の方法が重要であり、今後は他の媒体での周知を検討しながら実施していく。また、関係企業、関係団体等とも連携し、環境活動を推進していく。			◎ 計画どおりに実施し、目標を超える成果があった。		目標の集客数を達成することができた。	
	施策										
	環境・エネルギー対策の推進										
	事業概要			指標名		区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
民間企業、関係団体、地域住民など多様な主体との連携の下、圏域全体又は各市町による環境啓発強調月間における事業の開催により、圏域住民や事業所に対する環境意識啓発を推進する。また、低炭素社会の構築に向け、エコハウス設備や電気自動車等の普及促進に向けて調査・研究を行う。			環境イベントの年間参加人数（人）【単年度】		目標	600	400	600	400	600	夏と冬にイベントを年2回実施したことで目標値を大きく上回る結果となった。
					実績	399	726				
					達成率	66.5%	181.5%				

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
16	生活	消費者行政推進事業	相談内容等について情報共有を図るとともに、各市町で広報、ケーブルテレビ、消費者講座等で消費者教育や啓発活動を行った。各市町において、担当職員が研修会に積極的に参加し、相談機能の強化を図った。コロナ禍の中、相互連携の内容について協議する場を設けられなかった（メールでの意見交換を行った）。		相談内容の共有を図り、それぞれの事例を基に適切な消費者教育や啓発活動を行う。また圏域住民の利便性の向上を図るため、相談窓口の相互連携の内容について検討する。		△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		担当者間の事例の共有や研修会への積極的な参加により、各市町での相談機能の強化は図れたが、相談窓口の相互連携の内容の検討は進まず、また目標値も下回ったため。	
	施策									
	住民相談窓口の相互利用等									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
	圏域住民の利便性の向上を図るとともに、消費者被害に対して迅速で適切に対応するため、相談窓口の相互連携を推進し、相談機能の強化と相談体制の充実を図る。また、消費者被害の未然防止及び拡大防止を図るため、圏域市町間の連携を強化し、地域資源や人材等を活かした消費者教育や啓発活動等を効果的かつ効果的に推進する。	消費生活相談の年間利用件数（件）【単年度】	目標	940	960	980	1,000	1,020	相談件数は、前年度に比べて減少（121件減）。主な要因としては、加東市において、相談員が1年間不在となったため（県立消費生活総合センターほかを紹介したため）、目標値を大きく下回った。	
			実績	864	743					
			達成率	91.9%	77.4%					
17	生活	「健幸」推進事業	令和3年度も加西市と多可町で「健幸アプリ」を共同利用しポイント事業を実施した。イベント等に参加することで獲得できる「行きましたポイント」、GPS機能を使った「名所にチェックインポイント」において、引き続き市町民の交流と健康づくりの促進を図っている。西脇市では新たに健幸ポイント事業を実施した。また、市町間の連携を深めるため、各市町で情報共有を定期的に図っている。		ポイント事業における連携拡大とコロナ禍での健康事業における連携方法を検討する。		△ 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		広域連携事業に係る検討項目数については、令和2年度を上回る10項目となったが、目標の15項目を達成できなかったため。	
	施策									
	健康事業等の広域連携									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
	高齢化や人口減少が進む中、圏域住民が「健幸」であるためには、そこに暮らすことで健幸になれる「まち」づくりが求められていることから、圏域各市町で行っている健康事業等の広域連携（健康・健幸ポイントの連携など）を図り、『健幸』=健康で幸せ（身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を送れること）な圏域づくりに取り組む。	広域連携事業に係る検討項目数（項目）【累計】	目標	10	15	16	16	16	情報共有は図れたが、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響により合同イベントの企画、開催はできなかった。	
			実績	9	10					
			達成率	90.0%	66.7%					

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定				
18	地域公共交通	公共交通広域連携調査・研究事業	担当者会議を行い、コロナ禍における交通事業者への支援や路線バスの利用促進に係る取組について、各市町で情報共有を図るとともに、定額運賃制度の導入について協議を行った。		引き続き、既存路線バスの維持・確保に向けた協議を進める。また、ICカードのシステム改修による圏域内での定額運賃制度の導入は、各市町の導入状況の違いにより実現が難しいことから、圏域内を周ることができる乗り放題きっぷの発行など、その他の取組について調査・研究を進める。			△	既存路線バスの維持・確保に向けた各市町の取組状況の共有を行い、各市町での取組に活用することにも、指標について、ほぼ目標を達成した。一方で、定額運賃制度の導入について協議を進めたが、具体的な取組には至らなかったことによる。
	施策								
	地域公共交通の広域連携								
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
	圏域内にある主要施設への交通手段を確保するために、既存路線の再編・維持を目指し、交通事業者等と協議を行う。また、利便性や効率性を考慮し、圏域内の移動に係る定額運賃制度の導入やICT技術等を活用した取組について調査・研究を行う。	路線バスの年間利用人数 （圏域内国・県補助対象路線） （人）【累計】	目標	299,000	299,000	299,000	299,000	299,000	前年度から増加しているものの、依然としてコロナ禍での外出自粛による利用者の減少により、目標値を下回った。
			実績	254,831	279,603				
				達成率	85.2%	93.5%			
No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定				
19	ICTインフラの整備	RPA・AI等ICT活用調査・研究事業	令和3年9月29日（水曜日）午前10:00よりWEB会議システムにより開催した。新規導入、試験運用中のシステム、R4年度事業などの情報交換を行うとともに業務システム一覧の更新も行った。		来年度も年1回程度の実施予定。3市1町自治体システム導入状況等一覧表の作成は継続する。			○	現在の情勢に基づく判断材料の交換など、単独では収集しきれない意見交換ができたことによる。
	施策								
	自治体情報システムの効率化								
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
	RPAやAI等の新しいICT技術の情報を共有し、ICT技術の適用による業務の効率化や新しいサービスの提供の可能性について調査・研究する。	RPA・AI等ICT技術の調査研究会の年間開催回数 （回）【単年度】	目標	1	1	1	1	1	WEB会議により問題なく目的の会議を開催できた。
			実績	1	1				
				達成率	100.0%	100.0%			

No.	政策	事業名	R3年度					進捗・達成状況		評価理由
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
20	交通インフラの整備	広域幹線道路整備推進事業	県に対して、各市の事業要望に加え、連携強化路線の維持管理を含めた整備要望を行った。		引き続き、県に対して要望を続けていく。			○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		計画通り、各市町が県に対し要望を行い、今後も引き続き要望を続けていく意思確認ができた。
	施策									
	広域幹線道路の整備促進									
	事業概要		指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
圏域市町間を結ぶ、国道175号、国道372号、主要地方道多可北条線、一般県道高岡北条線を連携強化路線とし、未改良区間や歩道未整備区間の整備について連携して要望することで、安全・安心な交通を確保するとともに、圏域住民の利便性の向上を図る。		年間要望活動回数（回）【単年度】	目標	1	1	1	1	1	各市町と連携し、継続的な要望を実施することにより、連携強化路線の安全安心な交通の確保につながるため、年間要望活動回数を指標とする。	
			実績	1	1					
			達成率	100.0%	100.0%					
21	地域内外の住民との交流・移住促進	地域観光情報発信・誘客活動事業	3市1町と三木市が連携し、花のスタンプラリー（6月～10月）を実施した。また、紅葉スタンプラリー（10月～1月）も継続して実施した。サイクルツーリズムPRのため、万博記念公園でのイベント「サイクルモードライド大阪」に出展した。		これまで、各市町の負担金のほかに、広域観光に使える県補助金を獲得して事業を遂行していたが、令和4年度から当該の補助金が廃止されることとなった。事業の遂行にさらなる工夫が必要となった。			○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		事業を増やしたことで効果の上があった部分もあるが、昨年度からの計画を変更した部分もあるため、ほぼ達成としている。
	施策									
	観光資源の開発									
	事業概要		指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
自然や歴史文化、伝統産業等の多様な地域資源の活用や連携、新たな地域資源の発掘により、周遊性を高めた圏域における観光ルートを形成するなど、観光情報の効果的な発信とともに、圏域への誘客活動に取り組み、交流人口の拡大による圏域の活性化を図る。		観光客動態調査による年間入込客数（万人）【単年度】	目標	682	688	694	700	707	コロナ禍の影響が続き、入込数は回復しなかった。キャンプ、ゴルフをはじめとしたオープンエアの観光は集客力を保っており、今後の躍進にも期待が持てる。	
			実績	595	617					
			達成率	87.2%	89.7%					

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
22	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	人材育成事業	R3.12.23手話研修（初級）23名参加、 R3.11.29自治体法務検定（政策法務）10名参加、 R4.1.31ワークライフバランス研修15名参加、 R4.3.11観光資源歴史研修14名参加		自治体法務検定、手話研修及びワークライフバランス研修は、継続実施予定 観光資源歴史研修は構成市町で検討する。		◎ 計画どおりに実施し、目標を超える成果があった。		新型コロナウイルス感染症のため、研修の開催に苦慮したが、参加者は昨年並みを確保できた。	
	施策									
	人材の育成及び確保									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
	圏域市町職員の職務能力、資質及び公務能率の向上を図るため、職種別又は担当課レベルでの専門研修や圏域内における同一課題に対応するための合同研修を実施する。	職員合同研修等の年間参加人数（人）【単年度】	目標	50	50	50	50	50	観光資源歴史研修を始めて開催。14名が参加	
			実績	66	62					
			達成率	132.0%	124.0%					
No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由	
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定					
23	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	人事交流事業	担当者による相互の意見交換を実施し、課題の抽出及び実施に向けた具体的案をまとめ、次年度に向けた検討事項を共有した。		人事交流の実施に向けた具体的検討を進める。		○ 計画どおりに実施し、ほぼ目標を達成した。		目標達成に向けて意見交換を行いながら、課題の抽出と方向性を検討する案を取りまとめ、次年度へ繋げることができた。	
	施策									
	人材の育成及び確保									
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析	
	職員の能力及び資質向上を図るため、圏域市町における実務者レベルでの意見交換会を行う。また、圏域市町における共通した行政課題について、先進的・効果的な取組事例の共有・検討を行うため、同時期・同一団体に圏域市町から職員を派遣し相互交流を行う。	相互交流の実施に係る実務者意見交換会の年間開催回数（回）【単年度】	目標	1	1	1	1	1	構成市町の意見をとりまとめ、共有することができた。	
			実績	0	1					
			達成率	0.0%	100.0%					

No.	政策	事業名	R3年度				進捗・達成状況		評価理由
			取組内容（実績）		次年度への課題と予定				
24	中心市等における人材の育成及び外部からの人材の確保	公平委員会の共同設置事業	共同設置に向け、公平委員会事務局や組織機構担当課にメリット・デメリット・課題等の意見照会を行い、結果を情報共有した。（書面会議の実施）		共同設置に向けた検討会議を開催し、報告されているメリット、デメリット、課題等について意見交換を行う。		 一部事業を計画どおりに実施できた。計画どおりに実施したが、目標を下回った。		書面会議により各自治体の意見を共有することができたが、新型コロナウイルス感染拡大により直接集まって意見交換をできなかったため。
	施策								
	人材の育成及び確保								
	事業概要	指標名	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	指標結果の分析
事務の効率化や専門性等の確保のため、公平委員会の共同設置について調査・研究する。	担当者による意見交換会の年間開催回数（回）【単年度】	目標	1	1	1	1	1	書面による意見交換会を実施できた。	
	実績	0	1						
	達成率	0.0%	100.0%						